

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第16週の発生動向

全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 6例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：E型肝炎 1例。5類感染症：アメーバ赤痢 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	肺結核	咳、痰
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、呼吸困難
		都城	70歳代	女	肺結核	症状なし
		日南	60歳代	男	肺結核	痰、発熱
		中央	90歳代	女	肺結核	発熱
4類	E型肝炎	日向	60歳代	男	—	肝機能異常、肝腫大
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	60歳代	男	腸管アメーバ症	下痢

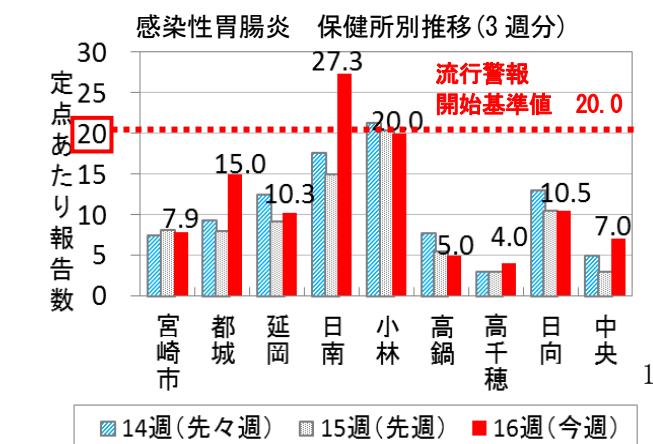
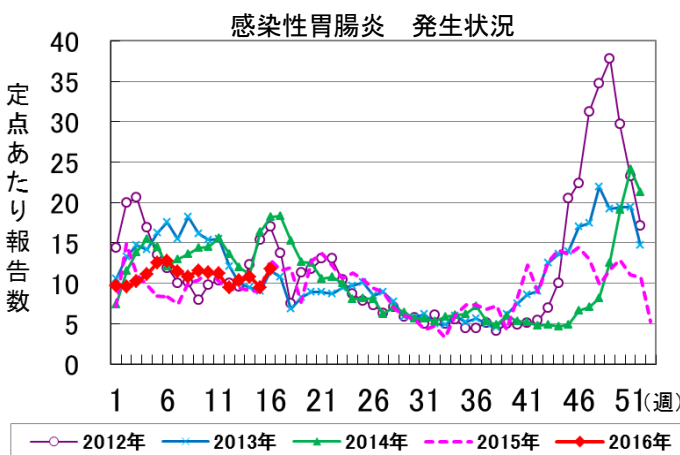
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は905人(定点当たり27.5)で、前週比91%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

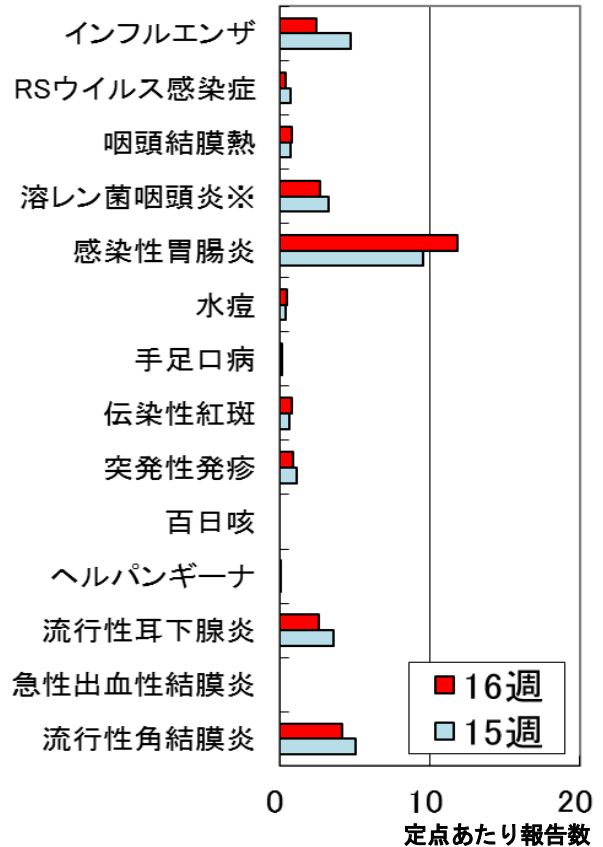
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

・報告数は425人(11.8)で、前週比124%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.4)の約0.9倍であった。日南(27.3)、小林(20.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~4歳が全体の約6割を占めた。



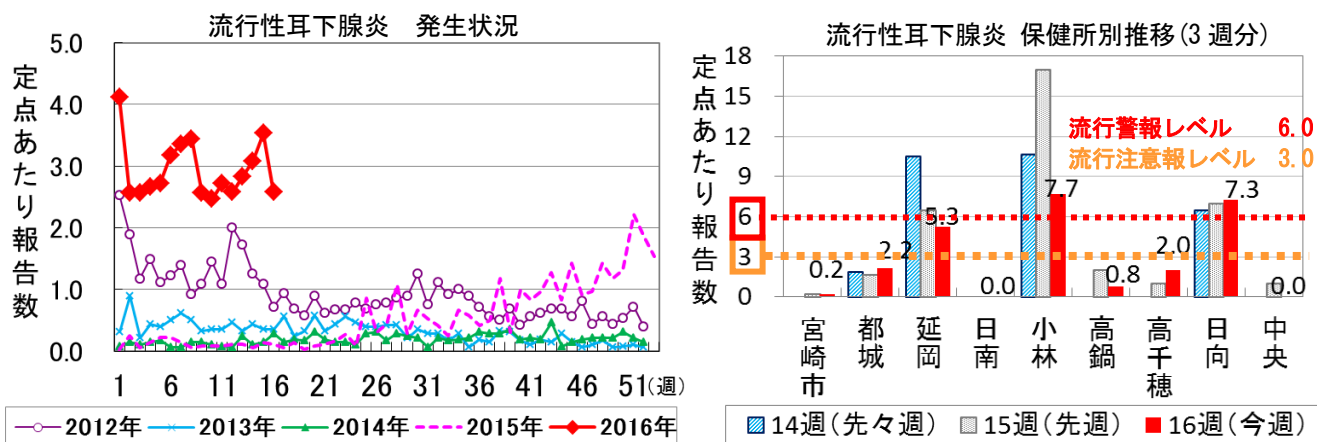
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【流行性耳下腺炎】

・報告数は93人(2.6)で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(0.82)の約3.2倍であった。小林(7.7)、日向(7.3)、延岡(5.3)保健所からの報告が多く、年齢別では3～7歳が全体の約7割を占めた。
 * 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

- 細菌性髄膜炎：日南保健所から1例報告があった。0～4歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：延岡、高鍋保健所から1例ずつ報告があった。0～4歳が1例、5～9歳が1例であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：都城保健所から1例報告があった。0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(5.3)
日南	感染性胃腸炎(27.3)
小林	感染性胃腸炎(20.0)、流行性耳下腺炎(7.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	流行性耳下腺炎(7.3)
中央	咽頭結膜熱(3.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成28年4月26日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	50歳代	女	2016.4.11	—	便	2016.4.20

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
エコーウイルス18型	0～4歳	男	2016.03.24	エンテロウイルス感染症、38.9度 上気道炎、紅斑、下痢、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.04.25
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	0～4歳	男	2016.03.01	インフルエンザA型、38.5℃ 上気道炎、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.04.13
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	5～9歳	女	2016.03.01	インフルエンザA型、39.1℃ 上気道炎、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.04.13
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	0～4歳	男	2016.03.14	インフルエンザA型、38.4℃ 上気道炎、頭痛	鼻汁	2016.04.13
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	0～4歳	男	2016.03.14	インフルエンザA型、39.3℃ 上気道炎、胃腸炎(嘔気、嘔吐)	鼻汁	2016.04.13
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	5～9歳	男	2016.03.23	インフルエンザA型、39.5℃ 上気道炎、関節痛、筋肉痛	鼻汁	2016.04.13
インフルエンザウイルス AH1pdm09型	0～4歳	男	2016.03.28	インフルエンザA型、40℃ 上気道炎	鼻汁	2016.04.13
インフルエンザウイルス B型(ビクトリア系統)	0～4歳	女	2016.02.29	インフルエンザB型、38.5℃ 上気道炎、咳、眼の痛み	咽頭ぬぐい液	2016.04.13
パラインフルエンザウイルス1型	0～4歳	男	2016.04.13	急性気管支炎、41℃ 下気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.04.20
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2016.04.18	集団かぜ、40℃、上気道炎 咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.04.20

○インフルエンザと診断された乳幼児7名から、AH1pdm09型が6件、B型(ビクトリア系統)が1件分離された。県内におけるインフルエンザの報告数は減少傾向にあるが、引き続き注意する必要がある。

○呼吸器症状を有する乳幼児2名から、パラインフルエンザウイルス1型が1件、ヒトメタニューモウイルスが1件検出された。パラインフルエンザウイルス、ヒトメタニューモウイルスは、春～夏にかけて多くみられる。現在、流行は認めていないが、今後の発生動向に注意する必要がある。

🇯🇵 全国 2016 年第 15 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 15 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	411 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	7 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	6 例	オウム病	1 例
	つつが虫病	7 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	2 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	12 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	19 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	46 例	風しん	3 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 95%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とRSウイルス感染症であった。減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は7,238人(2.3)で前週比124%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約1.2倍であった。山形県(6.0)、鳥取県(5.6)北海道(5.2)からの報告が多い。年齢群別では4～5歳が全体の約3割を占めていた。

流行性耳下腺炎の報告数は2,589人(0.82)で前週比101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.43)の約1.9倍であった。宮崎県(3.5)、山形県(3.3)、石川県(2.4)からの報告が多く、年齢別では3～6歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第16週(4月18日～4月24日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	279	142	56	25	15	9	11	6	3	14	3
	定点あたり	4.73	2.41	3.50	2.50	2.14	1.80	2.20	1.00	1.50	2.33	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	26	13	8	3			2				
	定点あたり	0.72	0.36	0.80	0.50	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	24	27	9	4	6	4		1			3
	定点あたり	0.67	0.75	0.90	0.67	1.50	1.33	0.00	0.25	0.00	0.00	3.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	116	96	33	14	9	14	1	7	1	10	7
	定点あたり	3.22	2.67	3.30	2.33	2.25	4.67	0.33	1.75	1.00	2.50	7.00
感染性胃腸炎	報告数	342	425	79	90	41	82	60	20	4	42	7
	定点あたり	9.50	11.81	7.90	15.00	10.25	27.33	20.00	5.00	4.00	10.50	7.00
水痘	報告数	13	15	4			6	3	1		1	
	定点あたり	0.36	0.42	0.40	0.00	0.00	2.00	1.00	0.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	5	4				2				1	1
	定点あたり	0.14	0.11	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	21	29	7	10	2		5	4			1
	定点あたり	0.58	0.81	0.70	1.67	0.50	0.00	1.67	1.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	39	31	12	5	1	1	3	5		4	
	定点あたり	1.08	0.86	1.20	0.83	0.25	0.33	1.00	1.25	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	127	93	2	13	21		23	3	2	29	
	定点あたり	3.53	2.58	0.20	2.17	5.25	0.00	7.67	0.75	2.00	7.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	30	25	14	10	1						
	定点あたり	5.00	4.17	4.67	5.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		2			1			1			
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	5	1		1							
	定点あたり	0.71	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～16週)

2類感染症	結核	60例(6)				
4類感染症	E型肝炎	1例(1)	A型肝炎	3例	つつが虫病	4例
	アメーバ赤痢	8例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎	7例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	梅毒	4例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例		

()内は今週届出分、再掲